

C-66 中世絵巻物にみられる被支配者層の風俗習慣に於ける一考察(第一報)

近畿大学女子短大家政

○仙田美智子

山田泰子

目的 従来の服装史研究では、主として支配者層を対象にしたものが多くみられるのに対し、被支配者層に関してはあまり詳しい供述はなされていないように思われる。そこで戦乱の世に於ける庶民層の風俗習慣からそれを推察してみたいと思ひ今回は支配者層に激しい変動のみられる中世を取りあげてそれらが被支配者層にどう影響しているかを調べてみたものである。

内容 鎌倉室町時代の社会的背景に伴う風俗習慣を最も強く反映していると思われる絵巻物を中心に被支配者層を地方武士と一般庶民の二つに大別分類して支配者層と比較検討。

結論 この時代の特徴として支配者層と被支配者層の隔差がせほまりカヤチヤンスがあれば被支配者層の中から支配者層の側に立てる可能性も多かったために平安藤原時代にくらべて上下の風俗習慣が入りくみ次期時代の庶民層抬頭のための胎動期に当るものとなった。